

事務事業名	地域の芸術文化環境づくり支援事業補助事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課	
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	文化財・文化振興グループ	課長名	白神大三	
施策名		(29) 地域文化の振興	担当者名	堀江篤史	電話番号(内線)	0854-40-1300	
基本事業名	(086) 地域文化の理解促進	予算科目	会計	款	項	目	
			0	1	5	0	
			2	5	3	0	
			7	1			
			中事業				地域の芸術文化環境づくり支援事業補助金

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(23年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	美しく心豊かなふるさとづくりの推進を目指し、地方公共団体等の自主事業のプロデュース能力の向上、公立文化施設の利活用等を図るため、地方公共団体等が自主的に実施する、創造的で文化的な芸術活動の地域における環境づくりを支援する。	平成23年度、(財)地域創造、(財)自治総合センターの助成が決定し、事業が開催できるようになったため。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	補助金(ソフト・その他) 6,100千円	内訳	「狐の会」日本舞踊雲南公演 3,900千円	ジャズと神楽による芸術環境づくり事業 2,200千円	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	①コミュニティ助成事業申請業務 ②補助金支払業務	正規職員従事人数	1	延べ業務時間	409
		人件費計(B)	0	0	1,612
		トータルコスト(A)+(B)	0	0	7,712

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	② 補助金支払業務	①コミュニティ助成事業申請業務	ア 助成事業申請件数	件			2	1	1	
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	①コミュニティ助成事業申請業務	イ 補助金支払い件数	件			2	1	1	
	②補助金支払業務		ウ							
			エ							
			オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	① 市民	ア 雲南市人口	人	42,428	41,927	41,899	41,454	40,999	
	② 市外の人	イ 市外人口	千人	127,352	127,134	126,871	126,564	126,213	
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	①文化芸術、地域芸能に関する事業を企画し、市民が文化芸術活動にふれる機会の拡充を図る。	ア 来場者数	人			1,113	800	1,700	
	②市外へも積極的にイベントの情報発信をすることで雲南市の知名度向上を図る。	イ 事業数	件			2	1	2	
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	地域の伝統文化や歴史遺産に関心をもち、郷土への誇りと愛着の心を培うとともに、次世代に伝えていく。	ア 歴史遺産や地域文化に関心を持っている市民の割合	%	60.4	59.5	57.3			
		イ 過去1年間に遺産や文化財、地域文化を見たり、触れたりした市民の割合	%	42.9	50.7	44.3			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成23年度新規事業	特になし	・プロと地元が混じったイベントをやってもらおうと、今回のように来場者が増える。(来場者アンケートより)

事務事業名	地域の芸術文化環境づくり支援事業補助事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 地域文化の振興に直結している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 地域文化の振興に寄与する。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 現在市内外の方を対象としている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 公演事業実施後に来場者へのアンケート事業を実施している。その結果に基づいて次年度の助成事業申請を行っている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 補助金については一度、市の会計を通して交付されるため、廃止された場合は補助事業が行えなくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ この補助金は一度、市の会計を通して交付される10/10補助金のため。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 助成団体からの助成額を一度市の会計を通して交付している。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 助成を受ける際に、必ず市町村が申請事務を行わなければならないと要綱で決まっているため。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内外の方全体を対象としている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成23年度新規事業だったが、2つの事業を行い、1,000人を超える来場者を迎えることができた。併せて、ワークショップも行い、市内小学生の文化体験の場を設けることもできた。アンケートではプロと地元の混ざったイベントを希望する意見が出た。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 本事業については、助成事業の採択が不可欠であり、助成採択されなかった場合は事業展開ができなくなる。																							